



# 2022 会 告 No.10

◇通知・案内事項

○第88年会開催案内 「一般研究発表」講演募集「シンポジウム」企画募集……………本号7ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2022)	(2023)
◇年会		
◇秋季大会		3/15～17(東京農工大学)
◇支部大会	11/9～10(新潟大会)	9/11～13(福岡大学)
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
<b>2022年10月 October</b>			
1	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 鹿児島県)		6号11
4	第27回実践化学工学講座(10/4, 14, 19, 28, 11/8, 18, 22, 12/1, 13, 22)(オンライン)		7号12
6～7	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)		8号9
11～12	入門触媒科学セミナー(大阪府)		7号13
14	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(10/14, 18)(オンライン)	10月7日(金) 9:00	8号9
15	上席化学工学技士 面接試験【三次】(オンライン)		6号9
20～21	「プラント計装制御-2」講座(東京都)	10月12日(水)	本号9
24	第18回分離プロセス基礎講座 固液分離工学 -基礎と応用- (大阪府)		7号10
27	第2回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ「バイオ技術者のための実践基礎講習」(11/1)(オンライン)		9号15
27～28	粉体技術者養成講座 第2回【混合・混練】(千葉県)		7号10
28	2022年度 マイクロ化学プロセス分科会 講演会(千葉県)	10月14日(金)	9号13
28～29	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ!～」 関西セッション(兵庫県)		6号12
<b>2022年11月 November</b>			
1	第54回CEシリーズ講習会「プロセス・インフォマティクスの基礎と産業への展開」 (東京都/オンライン)	10月25日(火)	9号14
1～2	粉体技術者養成講座 第3回【粒子加工】(静岡県)		7号10
4	岡山地区化学工学懇話会 2022年度化学工学基礎講習会(基礎編)(岡山県)	10月21日(金)	本号14
9～10	化学工学会新潟大会(新潟県)		8号13
9～11	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	11月1日(火)	8号10
11	中国地区化学工学懇話会 2022年度 セミナー(広島県)	10月21日(金)	本号14
11～12/9	第9回初歩からの化学工学数学演習講座～データ解析および時系列データ分析の基礎～ (オンデマンド)	12月2日(金)	9号14
16～18	「P&IDの作り方」講座(東京都)	11月8日(火)	8号10
17～18	第56回化学工学の進歩講習会「脱炭素社会に向けて進化するリサイクル技術の現在と未来」 (愛知県/オンライン)	11月4日(金)	9号15
18	第32回化学工学一関セミナー(岩手県)	11月11日(金)	本号12
18	第64回関東技術サロン講演会「人の心を動かすモノづくり」「弱いロボット」(オンライン)		本号12
21～22	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(千葉県)	11月11日(金)	本号10

24～25	ナノ材料の表面分析講習(大阪府)	11月2日(水)	7号13
24～25	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)	11月16日(水)	8号11
25	ソフトマター工学分科会講演会・会員総会(宮城県/オンライン)	11月11日(金)	本号11
25～26	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ!～」 幕張セッション(千葉県)		6号12
28～29	超臨界流体部会 2022年度基礎セミナー 「超臨界CO <sub>2</sub> および亜臨界水・超臨界水の基礎と応用技術」(東京/オンライン)	11月15日(火)	本号11
30	第29回イブニングセミナー 「化学工学分野へのデータサイエンスの活用事例と今後の展開」(オンライン)		本号13
<b>2022年12月 December</b>			
6～8	第3回集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会(オンライン)		本号10
13～14	粉体技術者養成講座 第4回【集じん】(愛知県)		7号10
16	シンポジウム モビリティの電動化を牽引するエレクトロニクス ～電池・モータ・半導体と環境対応～(東京都/オンライン)	12月9日(金)	本号12
16～17	第39回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー(オンライン)	10月21日(金)	本号13
19	化学工学会岡山大会2022(岡山県)	10月31日(月)	本号15
26	「第33回中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会」および 「化学工学会東海支部 第107回講演見学会」合同見学会(愛知県)	11月25日(金)	本号13
<b>2023年1月 January</b>			
12～13	粉体技術者養成講座 第5回【粉砕】(広島県)		7号10
<b>2023年2月 February</b>			
2～3	粉体技術者養成講座 第6回【ろ過】(大阪府)		7号10
<b>2023年3月 March</b>			
15～17	化学工学会第88年会(東京都)	12月22日(木)	本号7

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
10月25～28日	「第6回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議(IMPRES2022)」 The 6th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems(IMPRES2022)		4号16
12月2～4日	33th International Symposium on Chemical Engineering (ISChE) (第33回化学工学に関する国際シンポジウム(ISChE2022))		8号14
2023年8月14～18日	The 17th International Heat Transfer Conference (IHTC-17) (第17回国際伝熱会議)(Cape Town, South Africa)	10月15日	本号12

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2022年度化学人材育成プログラム(東京都ほか)	4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp <a href="https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html">https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html</a>
2022年度 技術英語能力検定(技術英検)(東京都ほか)	4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	公益社団法人日本 技術英語協会	03-3434-2350 info@jstc.jp <a href="https://jstc.jp/exam/examination/">https://jstc.jp/exam/examination/</a>
2022年度計算力学技術者(CAE技術者)資格認定事業 (全国/上級試験はオンライン)	6月22日～ 12月9日(水～金)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7616 caenintei@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/cee/">https://www.jsme.or.jp/cee/</a>

第11回反応性プラズマ国際会議／ 第75回気体エレクトロニクス会議(宮城県)	10月3～7日 (月～金)	第11回反応性プラズマ国際会議組織委員会	022-795-7116 icrp-11@grp.tohoku.ac.jp <a href="https://www.ecei.tohoku.ac.jp/plasma/ICRP-11/">https://www.ecei.tohoku.ac.jp/plasma/ICRP-11/</a>
第73回白石記念講座(東京都)	10月7日(金)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) kuriyama@isij.or.jp <a href="https://isij.or.jp/event/event2022/shiraishi73.html">https://isij.or.jp/event/event2022/shiraishi73.html</a>
熱工学コンファレンス2022(東京都)	10月8～9日 (土～日)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7611 (03-4335-7618) ogura@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf22/">https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf22/</a>
腐食防食部門委員会第344回例会(京都府)	10月11日(火)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp <a href="https://www.jsms.jp/">https://www.jsms.jp/</a>
講習会 混相流入門 －実例に学ぶ複雑流動現象の基礎と計測／数値計算技術 (オンライン)	10月11日(火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 (03-4335-7619) kumagai@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/event/22-107/">https://www.jsme.or.jp/event/22-107/</a>
第8回材料WEEK(京都府)	10月11～14日 (火～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp <a href="https://www.jsms.jp/">https://www.jsms.jp/</a>
第57回真空技術基礎講習会(大阪府)	10月11～14日 (火～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp <a href="https://www.jvss.jp/jpn/activities/18/detail.php?eid=00004">https://www.jvss.jp/jpn/activities/18/detail.php?eid=00004</a>
第16回 日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム－環境問題・エネルギー問題の解決のための最先端熱利用技術(仮)－(東京都／オンライン)	10月12～14日 (水～金)	日本電磁波エネルギー応用学会	03-3414-4554 (03-3414-4554) office@jemea.org <a href="https://www.jemea.org/?p=53823">https://www.jemea.org/?p=53823</a>
第70回レオロジー討論会(石川県)	10月13日～14日 (木～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp <a href="http://www.srj.or.jp/gyoji">http://www.srj.or.jp/gyoji</a>
66th FRP CON – EX 2022 (第66回 FRP 総合講演会・展示会)(東京都)	10月13～14日 (木～金)	強化プラスチック協会	03-5812-3370 (03-5812-3375) frp.con-ex2022@jrps.or.jp <a href="https://www.jrps.or.jp/">https://www.jrps.or.jp/</a>
ALC'22 (14th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices'22) (沖縄県)	10月16～21日 (日～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) alc@jvss.jp <a href="https://www.jvss.jp/division/mba/alc/alc22/">https://www.jvss.jp/division/mba/alc/alc22/</a>
第5回 新エネルギー・水素部会 シンポジウム グリーンイノベーションへの挑戦(東京都)	10月17日(月)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp <a href="https://www.jie.or.jp/publics/index/863/">https://www.jie.or.jp/publics/index/863/</a>
ケミカル マテリアル Japan 2022 – ONLINE – (オンライン)	10月17～28日 (月～金)	(株) 化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) cmj@chemicaldaily.co.jp <a href="https://www.chemmate.jp/exhibit_2022/">https://www.chemmate.jp/exhibit_2022/</a>
第41回電子材料シンポジウム(EMS-41)(奈良県)	10月19～21日 (水～金)	電子材料シンポジウム運営・実行委員会	03-5841-3840 (03-5841-3862) ems41-query@ems.jpn.org <a href="https://ems.jpn.org/">https://ems.jpn.org/</a>
第59回石炭科学会議(北海道)	10月20～21日 (木～金)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan59sanka@jie.or.jp <a href="https://www.jie.or.jp/publics/index/850/">https://www.jie.or.jp/publics/index/850/</a>

第70回プラスチックフィルム研究会講座(東京都)	10月25日(火)	高分子学会 プラスチックフィルム研究会	03-5540-3770 (03-5540-3737) resg2@spsj.or.jp <a href="https://member.spsj.or.jp/event/">https://member.spsj.or.jp/event/</a>
第43回日本熱物性シンポジウム(和歌山県)	10月25～27日 (火～木)	日本熱物性学会	086-251-8046 (086-251-8266) jstp@okayama-u.ac.jp <a href="http://jstp-symp.org/symp2022/">http://jstp-symp.org/symp2022/</a>
JST 未来社会創造事業 本格研究所課題 「製品ライフサイクル管理とそれを支える革新的解体技術開発による統合循環生産システムの構築」公開シンポジウム 物理分離技術とライフサイクル評価の革新 - 循環型社会実現のために - (東京都)	10月28日(金)	JST 未来社会創造事業 本格研究所課題グループ(研究代表 早稲田大学理工学術院 所 千晴), 早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構	03-5286-3320 (03-5286-3491) n.yamauchi@kurenai.waseda.jp <a href="http://www.tokoro.env.waseda.ac.jp/">http://www.tokoro.env.waseda.ac.jp/</a>
第17回エレクトロヒートシンポジウム<WEB開催>(オンライン)	11月1～30日 (火～水)	一般社団法人日本エレクトロヒートセンター	03-5642-1733 (03-5642-1734) nakatani@jeh-center.org <a href="https://www.jeh-center.org/17thEHSympo.html">https://www.jeh-center.org/17thEHSympo.html</a>
8th International Conference for Ion Exchange (ICIE2022) (東京都)	11月4～7日 (金～月)	日本イオン交換学会	03-3238-3370 icie2022@jaie.gr.jp <a href="http://www.jaie.gr.jp/icie2022/index.html">http://www.jaie.gr.jp/icie2022/index.html</a>
第245・246回西山記念技術講座(大阪府/東京都)	11月7～14日 (月～月)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) kuriyama@isij.or.jp <a href="https://isij.or.jp/event/event2022/nishiyama245.html">https://isij.or.jp/event/event2022/nishiyama245.html</a>
日本膜学会「膜シンポジウム2022“膜を学ぶ・膜に学ぶ”」(兵庫県)	11月9～10日 (水～木)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp <a href="http://www.maku-jp.org/symposium/">http://www.maku-jp.org/symposium/</a>
第35回日本吸着学会研究発表会(長野県)	11月10～11日 (木～金)	日本吸着学会	03-6824-9370 (03-5227-8631) adsorption-post@bunken.co.jp <a href="https://www.j-ad.org/annual-meeting/">https://www.j-ad.org/annual-meeting/</a>
第13回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(徳島県)	11月14～16日 (月～水)	日本機械学会	03-4335-7614 mnm2022@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/conference/mnm2022/">https://www.jsme.or.jp/conference/mnm2022/</a>
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022) (山梨県)	11月15～18日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp <a href="http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/">http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/</a>
2022 合同 WEB 討論会 ～第46回電解技術討論会 - ソーダ工業技術討論会 -, 第42回水素エネルギー協会大会, 2022 HESS 特別講演会～(東京都/大分県/オンライン)	11月17～30日 (木～水)	(一社) 水素エネルギー協会, (公社) 電気化学会 電解科学技術委員会	2022hess-ecsj@hess.jp <a href="https://confit.atlas.jp/hesssecsj2022">https://confit.atlas.jp/hesssecsj2022</a>
2022 合同 WEB 討論会 ～第46回電解技術討論会 - ソーダ工業技術討論会 -, 第42回水素エネルギー協会大会, 2022 HESS 特別講演会～(オンライン/東京都/大分県)	11月17～30日 (木～水)	(一社) 水素エネルギー協会, (公社) 電気化学会 電解科学技術委員会	090-7367-3695 2022hess-ecsj@hess.jp <a href="https://confit.atlas.jp/hesssecsj2022">https://confit.atlas.jp/hesssecsj2022</a>
第60回燃焼シンポジウム(東京都)	11月21～24日 (月～木)	一般社団法人 日本燃焼学会	03-5841-6580 sympo60@combustionsociety.jp <a href="http://www.combustionsociety.jp/sympo60/">http://www.combustionsociety.jp/sympo60/</a>
第38回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2022(オンライン)	11月21～25日 (月～金)	一般社団法人日本膜学会, 一般社団法人日本能率協会	03-3434-5512 (03-3434-5505) tech-con@jma.or.jp <a href="https://school.jma.or.jp/membrane/">https://school.jma.or.jp/membrane/</a>

第1回鉄鉱石塊成鉱に関する国際シンポジウム／ 英語名：The 1st International Symposium on Iron Ore Agglomerates (SynOre2022) (鳥根県)	11月22～25日 (火～金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-6369-9995 (03-3453-1258) y-amano@issjp.com <a href="https://synore2022.com/">https://synore2022.com/</a>
第43回ドライプロセス国際シンポジウム (DPS2022) (大阪府)	11月24～25日 (木～金)	第43回ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 dps2022@officepolaris.co.jp <a href="http://www.dry-process.org/2022/">http://www.dry-process.org/2022/</a>
第41回溶媒抽出討論会(東京都)	11月24～25日 (木～金)	日本溶媒抽出学会	03-5734-3845 takeshita.k.ab@m.titech.ac.jp <a href="http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/">http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/</a>
第12回イオン液体討論会(東京都)	11月24～25日 (木～金)	イオン液体研究会	070-5658-7626 ionicliquid@officepolaris.co.jp <a href="https://www.ilra.jp/">https://www.ilra.jp/</a>
日本コンピュータ化学会 2022年秋季年会(長野県)	11月25～27日 (金～日)	日本コンピュータ化学会	0268-21-5458 (0268-21-5391) osadam@shinshu-u.ac.jp <a href="https://sites.google.com/view/scej2022autumn/">https://sites.google.com/view/scej2022autumn/</a>
第30回秋季大会(京都府)	11月28～29日 (月～火)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp <a href="https://www.jspp.or.jp/">https://www.jspp.or.jp/</a>
SCIS & ISIS2022(三重県)	11月29日～ 12月2日(火～金)	日本知能情報フレンジイ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) scisis2022+info@gmail.com <a href="http://scis.j-soft.org/2022/">http://scis.j-soft.org/2022/</a>
第18回バイオマス科学会議(群馬県)	11月30日～ 12月1日(水～木)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp <a href="https://www.jie.or.jp/publics/index/869/">https://www.jie.or.jp/publics/index/869/</a>
第38回ゼオライト研究発表会(徳島県)	12月1～2日 (木～金)	一般社団法人日本ゼオライト学会	088-656-7429 (088-656-7429) kato@tokushima-u.ac.jp <a href="https://jza-online.org/events/">https://jza-online.org/events/</a>
第55回安全工学研究発表会(鳥取県)	12月1～2日 (木～金)	特定非営利活動法人安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com <a href="https://www.jsse.or.jp/Events/database/form_ab_gy6m8t43">https://www.jsse.or.jp/Events/database/form_ab_gy6m8t43</a>
第20回評価・診断に関するシンポジウム(大阪府)	12月1～2日 (木～金)	日本機械学会	03-4335-7616 kaneko@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/event/22-110/">https://www.jsme.or.jp/event/22-110/</a>
第42回レオロジー講座－基礎と測定法－(京都府)	12月5～6日 (月～火)	日本レオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp <a href="http://www.srj.or.jp/gyoji">http://www.srj.or.jp/gyoji</a>
第36回分子シミュレーション討論会(東京都)	12月5～7日 (月～水)	分子シミュレーション学会	03-5734-3373 (03-5734-3372) akitao@bio.titech.ac.jp <a href="https://sympo.mol-sim.jp/mssj36/">https://sympo.mol-sim.jp/mssj36/</a>
メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2022(大阪府)	12月7～9日 (水～金)	一般社団法人日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8079) mente@jma.or.jp <a href="https://www.jma.or.jp/mente/osaka/">https://www.jma.or.jp/mente/osaka/</a>
国際粉体工業展東京2022(東京都/オンライン)	12月7～9日 (水～金) (オンライン会期： 11月21日～2023年 1月27日(月～金))	一般社団法人日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2022@powtex.com <a href="https://www.powtex.com/tokyo/">https://www.powtex.com/tokyo/</a>

第49回炭素材料学会年会(兵庫県)	12月7～9日 (水～金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@conf.bunken.co.jp <a href="http://www.tanso.org/contents/event/conf2022/index.html">http://www.tanso.org/contents/event/conf2022/index.html</a> (予定)
Grand Renewable Energy 2022 International Conference (オンライン)	12月13～20日 (火～火)	Grand RE2022 国際 会議 組織委員会	090-7178-0029 (03-5294-0909) iked071@s7.dion.ne.jp <a href="https://www.grand-re2022.org">https://www.grand-re2022.org</a>
第36回数値流体力学シンポジウム(オンライン)	12月14～16日 (水～金)	一般社団法人 日 本流体力学学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) cfd36@nagare.or.jp <a href="https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd36/">https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd36/</a>
第6回ゼオライトセミナー(鳥取県及びオンライン)	12月16日(金)	一般社団法人日本 ゼオライト学会	0857-31-5684 (0857-31-5684) katada@tottori-u.ac.jp <a href="http://katalab.org/6ZeoliteSeminar/">http://katalab.org/6ZeoliteSeminar/</a>
第35回自律分散システム・シンポジウム(大阪府)	2023年1月22～ 23日(日～月)	計測自動制御学会 システム・情報部 門	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp <a href="https://sites.google.com/sice-das.org/das35th/">https://sites.google.com/sice-das.org/das35th/</a>
第39回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス (東京都)	2023年1月 26～27日(木～金)	一般社団法人エネ ルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) okabe@jser.gr.jp <a href="https://www.jser.gr.jp/">https://www.jser.gr.jp/</a>
第15回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用 に関する国際シンポジウム/第16回プラズマナノ科学技 術国際会議(ISPlasma2023/IC-PLANTS2023)(岐阜県)	2023年3月5～9日 (日～木)	公益社団法人 応用 物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2023@intergroup.co.jp <a href="http://www.isplasma.jp/">http://www.isplasma.jp/</a>
混相流国際会議2023(兵庫県)	2023年4月2～7日 (日～金)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp <a href="http://www.jsmf.gr.jp/icmf2022">http://www.jsmf.gr.jp/icmf2022</a>

## Journal of Chemical Engineering of Japan の出版体制の変更について

化学工学会では *Journal of Chemical Engineering of Japan (JCEJ)* を1968年より発行して参りました。現在は冊子体のほかJ-STAGEを通じて電子版を発行していますが、*JCEJ*を世界のより多くの研究者に活用いただくため、海外出版社の活用を検討してきました。その結果、2023年1月より*JCEJ*はTaylor & Francis社から出版されることが決定いたしました。

移行に際して制度が変更になりますが主なものは以下の通りです。

- ・OA(オープンアクセス)化
- ・冊子体の廃止
- ・投稿ページ数の制限が撤廃
- ・APC(掲載料)がページ数によらず\$1,500(化学工学会会員は3割引きで\$1,050)

各国の化学工学会が発行するジャーナルのなかでOA化となるのは、*JCEJ*が初めてになります。化学工学会としてはこれを機会に*JCEJ*のさらなる価値の向上を目指して参ります。

皆様におかれましては、今後一層の論文投稿、閲覧、引用を通じてご愛顧を賜りますようお願いいたします。

## 第88年会 開催案内

## 「一般研究発表」講演募集 「シンポジウム」企画募集

会場：東京農工大学小金井キャンパス(〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16)  
(口頭セッションはオンライン参加も可能とする予定)

会期：2023年3月15日(水)～3月17日(金)

講演申込期間：2022年11月1日(火)～12月22日(木)23:59

大会Webサイトからの申込に限ります。

講演要旨原稿提出期間：2023年1月5日(木)～2月15日(水)23:59 必着

講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。

一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。締切日以降、講演要旨原稿の訂正は一切できません。

大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/88a/>

化学工学会第88年会は、2023年3月15日(水)～17日(金)の3日間、東京農工大学小金井キャンパスにおいて開催されます。(口頭セッションはオンライン参加も可能とする予定です。但し新型コロナウイルス感染症の状況によっては会場変更あるいはオンライン開催に変更される可能性があります。)今回の年会では、一般研究発表に加え、産業セッション、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」、国際シンポジウム(英語セッション)を行います。その他のシンポジウムも企画中です。多数のご参加、講演申込をお願いいたします。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従ってください。講演申込締切後の変更、訂正は一切できませんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成して下さい。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承下さい。

(ここに掲載されている諸事項は変更される場合があります。最新情報は大会Webサイトをご確認下さい。)

## 新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、下表の通りオンサイト開催を基本に、口頭セッションについてはオンラインでの参加(登壇・聴講)も可能とし、ポスター講演についてはGOING VIRTUALを通じたポスター閲覧および質疑応答を可能とする予定です。

	口頭セッション	ポスターセッション
聴講者	オンサイトで開催 口頭発表をインターネット配信 し、オンライン参加を可能とする	オンサイトで開催 ただし、ポスター閲覧とGOING VIRTUALで 質問の書き込みは可能
発表者	オンサイトを基本とするが、オンラインによる発表も可能とする	オンサイトで発表 ただし、会期中はGOING VIRTUAL上にもポスターを掲示し、書き込みのあった質疑に対応

ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、

あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。尚、第88年会は、「化学工学会本部が主催するイベント開催形態に関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会Webサイトをご確認下さい。

## 注意点

## ○各開催形態に応じた発表可否の選択について

本大会では、前述の通りオンサイト開催を基本とする計画です。全ての口頭発表をインターネット配信(自動公衆送信による再送信とみなされます)しますので、他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

オンライン参加者は遠隔会議システム(Zoom)の環境準備(カメラ、マイク;PC付属のものでも可)が必要となります。

尚、開催形態、オンライン参加・オンサイト参加に係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。

前述の通り、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更の可能性もあります。つきましては、講演申込の際に、オンサイトからの発表と、オンラインからの発表、それぞれについて可否をお尋ねいたします。いずれかを「否」とご回答いただいた場合はご発表いただけなくなる可能性がありますのでご注意ください。

## ○講演発表申込時の発表者事前了解について

必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得て下さい。

申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

## ○化学工学会資格(※)保有有無について

発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポスター発表については、ポスターに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありませんが、資格を持っておられる方は是非協力下さい。

(※ 席上化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっていきます。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発

表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載下さい。

## ○口頭発表時投影資料、ポスター掲示資料の使用言語について

学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

## 講演申込について

## ○申込資格

1) 講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。

化学工学会

名誉会員

正会員(シニア会員、永年会員を含む)

学生会員(ジュニア会員を除く;ただし、修士課程以下の学生はポスター発表のみ)

教育会員

海外会員(海外正会員、海外連携会員、海外学生会員)

法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む)に属する社員)

共催学会の個人会員

特別講演者および招待講演者、依頼講演者

中国化学工学会(CIESC)、韓国化学工学会

(KICChE)、台湾化学工程学会(TwIChE)、

ドイツ化学工学バイオ学会(DECHEMA)、

米国化学工学会(AICChE)の個人会員

上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会Webサイト(<https://www.scej.org/>)をご参照下さい。

2) 講演内容は未発表のものに限ります。

3) 尚、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」の申込資格、講演内容等の詳細については、後述します。

## ○申込方法

講演を希望される方は、大会Webサイトからお申し込み下さい。講演申込期間は、2022年11月1日(火)から12月22日(木)です。大会Webサイトからの申し込みに限ります。尚、講演申込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承下さい。

講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて

入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出（アップロード）の際に必要となりますので、大切に保管して下さい。受理した講演申込は、受理から約15分以内に、その一覧（受理番号、講演題目、発表者、キーワード）を大会Webサイトに掲載しますので、受理の確認にお使い下さい。

尚、講演プログラムの編成上、申込時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任下さい。

#### ○申込時の注意事項

- \*講演申込期間以外は受理できません。
- \*JISコードのない日本語文字は使用しないで下さい。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないで下さい。
- \*講演申込1件分を1つずつ送信して下さい。
- \*二重送信は絶対にしないで下さい。
- \*申込内容に不備がある場合にはその内容が送信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信して下さい。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛（申込者、研究グループ代表者）に受理番号を記載した受理通知が送られます。
- \*申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせ下さい。
- \*プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。
- \*最終日はサーバーが非常に混雑し、申込ができない事態の生じることが予測されます。余裕をもってお申し込み下さい。
- \*大会Webサイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧下さい。

#### ○講演分類

申込時には、下記の分類と共にキーワード（英語）を3つ入力して下さい。

#### ○一般研究発表

##### [1. 基礎物性]

平衡物性・輸送物性、固体物性、薬品の毒性・引火点、エンジニアリングデータ

##### [2. 粒子・流体プロセス]

熱物質流体工学、攪拌・混合操作、流動層技術、気泡塔・懸濁気泡塔、混相流、粉体プロセス

##### [3. 熱工学]

熱的単位操作、燃焼・プラズマ・伝熱、熱交換器、各種エネルギーシステム、マイクロおよびバイオテクノロジーへの伝熱・輸送現象の展開

##### [4. 分離プロセス]

膜工学、固液分離、蒸留、吸収、吸着・イオン交換、抽出、晶析、乾燥、特殊分離法

##### [5. 反応工学]

触媒反応工学、ソノプロセス、活性種化学、反応分離、反応装置、マイクロ化学プロセス、CVD・ドライプロセス

##### [6. システム・情報・シミュレーション]

プラントオペレーション、プロセスエンジニアリング、プロセスダイナミクス応用、プロセス制御、最適化手法、情報処理技術

##### [7. バイオ]

生物プロセス、生体反応、生物分離、遺伝子、メディカル、生物情報、環境生物、食料・食品

##### [8. 超臨界流体]

単位操作、基礎物性、分離・抽出、反応・物質変換、材料創製・製造、環境負荷低減プロセス

##### [9. エネルギー]

エネルギー開発、蓄熱・増熱・熱輸送技術、炭素系資源利用、熱エネルギー利用、新エネルギー・エネルギーシステム

ギー・エネルギーシステム

##### [10. 安全]

リスクコミュニケーション方法、オペレーション設計法、安全設計、変更管理、安全性評価手法、安全技術伝承、少人化・無人化問題、物質安全

##### [11. エレクトロニクス]

電気化学プロセス（電池、めっき、等）、電子材料プロセス（半導体製造、電子回路製造、等）、微細加工技術（エッチング、薄膜形成、等）、高信頼性設計（高放熱、短絡現象、等）、インターコネクション技術（接着、接合、等）、環境持続可能技術

##### [12. 材料・界面]

界面制御、エマルション、機能性微粒子、ナノ粒子、ゲルテクノロジー、マイクロカプセル、晶析、塗布技術、微細構造形成・複雑分子集合体、機能化高分子素材、材料プロセッシング、材料レオロジー

##### [13. 環境]

水環境プロセス、排水処理技術、化学物質のリスク・管理、循環型社会設計手法、リサイクル技術、地球環境、CO<sub>2</sub>問題、地球全体の炭素循環

##### [14. 広領域]

テクノロジーマネジメント、経済評価・市場調査、教育、JABEE、その他

### 講演要旨原稿について

#### ○作成・提出方法

講演要旨原稿の提出期間は、2023年1月5日（木）から2月15日（水）23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し、大会Webサイトから提出（アップロード）して下さい。郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名（連名発表者全員）が申込時のそれらと異なるように注意して下さい。異なっている場合はプログラム（大会Webサイト、講演要旨集、冊子）に反映されないことがあります。

大会Webサイトに、標準的な書式ファイル（Microsoft Wordファイル）を掲載します。ご利用下さい。

- 1) 講演要旨原稿はA4縦置きで作成し、PDFファイルで提出（アップロード）して下さい。大会Webサイトではカラーで掲載されます。
- 2) 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚（1ページ）です。ただし、20分を超える講演は2枚（2ページ）です。
- 3) 原稿1ページの書式は以下を基準とします。  
全体体裁：2段組み、24×49行×2段=2,352字、段間の間隔6mm  
マージン：上23mm、下23mm、左19mm、右19mm  
字数、行数は多少変動しても構いませんが、横172mm、縦251mmの中に全内容を納めて下さい。
- 4) 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため、左マージンから31mm（9文字分）、上マージンから21mm（4行分）を空白にしておいて下さい。
- 5) 講演題目は、1行目の左マージンから31mm（9文字分）空けて、本文より大きく書いて下さい。
- 6) 研究者氏名を「（所属略称）（会員資格・保有している取得化学工学会資格）氏名」の順に、3行目から右に寄せて書いて下さい。所属名は略称を記入して下さい。会員資格は、正会員は（正）、学生会員は（学）、法人会員に属する社員は（法）、海外（正・連携・学生）会員は（海）、部会のみ会員（部会個人賛助会員、部会法人賛助会員に属する社員）は（部）と記し、その他の場合は書かないで下さい。保有している化

学工学会資格は7)を参照して下さい。連名の場合は、登壇者の会員資格の前に○印をつけて下さい。また、後日、講演内容について質問を受けていただける方の右上に\*印をつけて下さい。

（例）（農工大工）○（正・技士）化工一郎\*（学）東京花子・小金井太郎

- 7) 発表者の保有している化学工学会資格は、最上位のものを以下の略称で記して下さい。化学工学修習士：修習、化学工学技士（基礎）：技基、化学工学技士：技士、首席化学工学技士：上技。

（例）（正）、（正・技基）、（学・修習）、（法・上技）等

- 8) 本文は5行目左欄から書いて下さい。ただし、2ページの場合、2ページ目は1行目から書いて下さい。
- 9) 原稿の右下に脚注として\*印をつけ、6)で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載して下さい。

#### <PDFファイルに関する注意点>

- 1) ファイルサイズは1,229 kB以下にして下さい。
- 2) セキュリティ設定は「なし」にして下さい。
- 3) 「全てのフォントの埋め込み」を行って下さい。
- 4) PDFファイル作成後、図表のレイアウト等の体裁を、必ずご自身にて確認のうえ提出（アップロード）して下さい。
- 5) PDFファイルの提出（アップロード）には、受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要でです。受理番号は、大会Webサイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は、原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます（受理通知が再送されません）。
- 6) 締切日までの間は、何回でも「提出（アップロード）」を行うことができ、PDFファイルの差し替えが可能です。締切日後は、提出や訂正は一切できません。

#### <講演要旨原稿提出時の注意事項>

\*締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は、一般講演、招待講演、依頼講演ともに、大会Webサイトならびに講演要旨集（別売り）に掲載いたしません。

\*締切日後の講演要旨の提出や訂正は、一切受け付けません。

#### ○審査

講演要旨原稿について、書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合、受理しないことがあります。

#### ○化学工学会 電子図書館での事後公開について

化学工学会では、化学工学会Webサイト（会員専用ページ）の「電子図書館」にて、講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。電子図書館での事後公開は大会終了から3ヶ月後です。

#### 発表方法（一般研究発表）について

発表方法の詳細については大会Webサイトに掲載いたします。必ずご確認ください。

#### 特許上の新規性の保護について

特許法第30条第2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会にお

### 「産業セッション」

いて公表した講演要旨ならびに講演発表内容は、特許法により規定された所定の手続きを経ることによって、公表後1年以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合、本会による、公表ないし発表がなされたことを証明する文書、が必要になる場合があります。詳細については、本会Webサイト (<https://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>) をご確認ください。また、第88年会の講演要旨公表日は2023年3月1日(水)です。

### 広告・プロモーションビデオ・オンライン展示の募集(予告)

バナー広告、オンライン展示、プロモーションビデオ掲載、コマーシャル放映等を募集いたします。詳細は次号会告および大会Webサイトをご覧ください。

### 危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

### 「SCEJ冠シンポジウム」

個別企業の名前でセッションを開く、企業冠シンポジウムを募集します。各企業の化学工学に関する技術や将来ビジョンを発表いただく機会です。詳細は大会Webサイトをご覧ください。

第80年会(2015年)より継続して開催している「産業セッション」を本大会でも実施いたします。産業界出身の委員によってテーマ設定された複数の口頭セッション、ポスターセッションから構成されます。今、産業界の関心事は何か、何を考えどう対応しようとしているか、最新の情報をお届けします。是非ご参加下さい。

開催日等詳細については大会Webサイトをご覧ください。尚、発表テーマは公募しておりますが、発表ご希望の方は産業セッション事務局までお問い合わせ下さい。

### シンポジウム「化学産業技術フォーラム」

本フォーラムで発表いただくことにより、発表企業にとって技術や製品の宣伝のみならずその存在感を示すことでビジネスへの発展が大いに期待できます。また企業イメージを学生に具体的かつ積極的に発信することができます。是非積極的にご発表下さい。

尚、シンポジウムの一部についてはテーマの公募を行います。詳細は大会Webサイトをご覧ください。

#### ○参加・発表

「化学産業技術フォーラム」への参加・発表には、年会への参加登録が必要です(追加料金不要)。

#### ○講演申込資格

年会要領に準じます。ただし、学生の発表はできません。

#### ○講演の内容

・特許化したもの、企業化したもの、新聞発表

したものも可とします。

- ・企業戦略、知的財産戦略などの関連から、「物質A、B、C」などによる発表も可とします。
- 講演募集セッション、講演申込方法および締切、講演要旨原稿の作成要領、講演要領、等、詳細については大会Webサイトにてご確認ください。

### 国際シンポジウム | 英語セッション

全講演は英語で実施されるシンポジウムです。アジア国際賞受賞記念講演を含むセッションも予定されています。尚、全ての国際シンポジウムは年会内のセッションであると共に、併催する国際会議International Chemical Engineering Symposiaの一部となります。

### 国際会議「International Chemical Engineering Symposia」

年会に合わせ、国際会議International Chemical Engineering Symposiaが併催されます。年会での国際シンポジウムはこの国際会議の一部となります。一般講演も募集します。詳細については学会ホームページ等を通じて後日お知らせいたします。

### 問合せ先

化学工学会第88年会実行委員会  
E-mail: [inquiry-88a@www3.scej.org](mailto:inquiry-88a@www3.scej.org)

## 人材育成センター

### 「プラント計装制御-2」講座 (第9回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

7月に急遽延期になりました「プラント計装制御-2」講座を改めて10月20日(木)～21日(金)に開催します。

日時 2022年10月20日(木)～21日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策 化学工学会会議室で実施する場合には、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用と体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。記載内容にご同意頂けない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。[https://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar\\_07\\_COVID19\\_2206.pdf](https://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19_2206.pdf)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・プロセス技術者(5～7年程度の経験者)
- ・計装制御技術者(3～5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者
- ・「プラント計装制御-1」講座 修了者/受講予定者

講習目標 PID制御のチューニング手法やダイナミックモデルを使用した制御ループについて学び、ダイナミックシミュレータ(Matlab\_

Simulink)を使った演習を通して、プロセス制御の理論について理解を深めて頂きます。

#### 受講のメリット

- (1) PID制御の基礎と最適調整について理解できます。
- (2) ダイナミックモデルを使用した、無駄時間補償付PID制御、フィードフォワード制御、非干渉制御を理解できます。
- (3) シミュレータを使った演習で制御理論への理解が深まります。
- (4) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

#### 講座内容

第1日: 10月20日(木)9:55～17:30  
諸連絡(9:55～10:00)

1. PID制御とチューニング
2. アドバンスト制御

第2日: 10月21日(金)9:30～17:00

2. アドバンスト制御(続き)
3. ダイナミックシミュレーション及びそれを使用した制御性確認例

#### 講師 経験豊富なエンジニア

昆潤一郎氏(元日揮(株)・博士(工学))

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

#### 受講料(消費税10%込)

個人正会員	49,500円(本体45,000円)
維持会員/特別会員の社員	60,500円(本体55,000円)
地区会員の社員	71,500円(本体65,000円)
会員外	82,500円(本体75,000円)

申込方法 化学工学会ホームページ右上の「各種申込」の「講習会申込」と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/smm2/c/scej/event/EventList.htm>

#### 問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局  
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19  
E-mail: [jinzai-seminar@attmark.scej.org](mailto:jinzai-seminar@attmark.scej.org)  
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

## 「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編 (改定第10回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2022年11月21日(月)～22日(火)

場所 出光興産(株)技術研修センター  
(TEL: 0436-61-7841)  
〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸26(JR  
内房線「姉ヶ崎」駅下車徒歩10分)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策  
開催に際し、ソーシャルディスタンスの確保  
やマスクの着用と体温測定など、以下URLに  
記した新型コロナウイルス感染症対策を行いま  
す。

また、これらの対策に加え、当日朝、抗原  
検査キットで検査を行います(直近に行った  
PCR検査での陰性を証明できれば抗原検査を  
省略可)。本会ではそれらに従い開催致します  
ので、以下URLに記した『新型コロナウイルス  
感染症 (COVID-19) 対策』等にご同意頂けな  
い場合は、ご参加をお断りさせていただきます  
。ご協力よろしくお願ひ致します。

[https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar\\_07\\_COVID19\\_i2.pdf](https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19_i2.pdf)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・ハイドロリックの設計基礎を学びたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある  
初級エンジニア(1～5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定  
者

### 講習目標

本講座では、ハイドロリック設計に関するプ  
ロセス設計の基礎について、講義では演習問題  
を手計算で解きながら学び、更に実習で理解を  
深められます。

### 受講のメリット

- (1) ハイドロリックの計算原理、圧力損失計算、  
配管サイズの決め方、ポンプの基礎を学べま  
す。
- (2) ベルヌーイ実証実験、流動実験、ポンプキャ  
ピテーション実験、水撃実験などの実習で学  
べます。
- (3) 展示室のポンプ、コンプレッサー、制御弁、  
バルブのカットモデルを見学でき、その内部  
構造を学べます。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められ  
ます。

### 講座内容

第1日: 11月21日(月)9:00～16:30

諸連絡(9:00～9:10)

9. ハイドロリックの設計、設計演習 (9:10～  
16:30)

※昼食後にカットモデル見学(12:30～13:10)

第2日: 11月22日(火)

10. ハイドロリック実習に先立って (9:00～

9:10)

11. ハイドロリック実習(9:10～16:15)

※2班に分かれて以下の実験を実施します。

ベルヌーイ実証実験

流動実験

ポンプキャピテーション実験

水撃実験

※2日間の昼食は、本会でご準備致します。

講師 経験豊富なエンジニア

永野健一郎氏(日揮グローバル(株)プロジェ  
クトソリューションズセンター エンジニアリ  
ング本部 プロセスエンジニアリング部、 上席  
化学工学技士、技術士)

小山義成氏(出光興産(株)製造技術部技術研  
修センター)

溝口高生氏(出光興産(株)製造技術部技術研  
修センター)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最  
終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施しま  
す。合格ラインに達した方には修了証を授与  
致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方  
には20 ptを授与致します。また、修了証を授与  
された方には更に10 ptを加算致します。(詳  
細は4号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)6名に達  
しない場合は、開催中止となることがござい  
ます。

申込締切 10月21日(金)

受講料(税別)

個人正会員<技士基礎割\*>

38,500円(本体35,000円)

個人正会員 49,500円(本体45,000円)

維持会員/特別会員の社員

60,500円(本体55,000円)

地区会員の社員 71,500円(本体65,000円)

会員外 82,500円(本体75,000円)

\*技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対  
象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを  
完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情  
報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人である  
こと。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種  
申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記  
URLをブラウザに直接入力して頂き、該当す  
る講座を選択してお申込み下さい。  
[https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/  
EventList.htm](https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm)

### 問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター  
「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail: [jinzai-seminar@attマーク.scej.org](mailto:jinzai-seminar@attマーク.scej.org)

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

## 第3回集まれ 化学工学に 触れている学生諸子の会 (オンライン開催)

主催 公益社団法人化学工学会 人材育成セン  
ター

産業界での活躍を目指し日夜勉学に勤しみ、  
その一部あるいは大部分として化学工学系教科  
を学んでいる化学工学系・応用化学系の学生を  
主な対象に、社会に出るまでの活動のサポート  
の一環として、平素当会の活動にご協力いた  
だいている化学・エンジニアリング・エネルギー  
各社の会社紹介と、化学工学会インターンシ  
ップ紹介と研修学生の体験報告、化学工学会資格  
制度紹介のコラボオンラインイベント「第3回集  
まれ 化学工学に触れている学生諸子の会」を12  
月に開催します。会社紹介と併せ、学生と各社  
の情報交換の時間も設けます。

参加費は無料で、遠隔会議システムを用いた  
オンラインで行いますので、全国何処からでも  
容易に参加できます。奮ってご参加ください。  
主な対象は大学・大学院の学生ですが、大学教  
員や、インターンシップ受入や化学工学会資格  
制度に興味のある企業担当の皆様も是非ご参  
加ください。

日時 2022年12月6日(火)～8日(木)

会場 遠隔会議システムを用いたオンラインに  
よるバーチャル会場

### 内容

1. 会社紹介および学生と各社との情報交換  
化学・エンジニアリング・エネルギー会社各  
社(調整中)
2. 化学工学会インターンシップの紹介
3. インターンシップ研修学生の体験報告  
各社で研修した大学院生数名(調整中)
4. 化学工学会資格制度紹介  
※スケジュールは調整中です。決まり次第、ホ  
ムページにて公開します。

対象 就職を目指してインターンシップ研修や  
会社情報収集を考えている大学・大学院生、  
大学教員、インターンシップ受入や化学工学  
会資格制度に興味がある企業担当者、および、  
本会に関心がある皆様

参加費 無料

申込先 準備および接続情報提供の都合上、申  
込専用サイト([https://00m.in/scej\\_atsumare](https://00m.in/scej_atsumare))から  
参加登録をお願いします。

問合せ先 公益社団法人 化学工学会 人材育成  
センター

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail: [kotokyoiku@scej.org](mailto:kotokyoiku@scej.org)

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

# 部 会 C T

## 第7回 ソフトマター工学分科会 講演会・会員総会

主催 化学工学会 材料・界面部会 ソフトマター工学分科会

協賛 化学工学会 材料・界面部会, 高分子学会

ソフトマター工学分科会は、材料・界面部会に属する分科会であり、高分子・ゲル・コロイド・分散系を含めたソフトマテリアル全般の機能発現や制御およびその製造プロセスを対象として、微細構造、界面活性剤、コロイド分散系、秩序化、核生成、構造・相分離制御、成形加工、レオロジー、刺激応答などを化学工学的に理解し、ハンドリングする技術を構築していくことを目指しています。この度「ソフトマターを活用した自己修復/ネットワーク構造の設計」という観点で第7回の講演会を企画致しました。新型コロナウイルスの影響で先の見通しが立ちにくい状況ではありますが、現時点では「オンライン・オンライン併用開催」で準備を進めております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。また、会員間での学術ならびに人的交流を深める場としてご活用頂くと共に、本分科会の趣旨にご賛同頂ける方々の入会を併せてお待ちしております。

日時 2022年11月25日(金) 14:20～18:00(講演は14:55より開始)

場所 オンライン(ZOOM) / オンライン(東北大学青葉山キャンパス)併用開催

### プログラム

1. 会員総会(会計・活動報告)(14:20～14:45)

2. 開会挨拶(14:50～14:55)

3. 講演

講演1 (オンライン)(14:55～15:35)

破断誘起高分子ネットワーク形成を活用した動的ソフトマターの創製

北海道大学 先端生命科学研究院 教授 龔 剣洋氏  
(グン チェンビン)

講演2 (オンライン)(15:45～16:25)

水素結合の個性を生かした動的機能高分子

東京大学 生産技術研究所 教授 吉江尚子氏

講演3 (オンライン)(16:35～17:15)

共有結合の組み換えを利用した動的な高分子ネットワーク

東京工業大学 物質理工学院 教授 大塚英幸氏

講演4 (オンライン)(17:20～18:00)

可逆性・可動性架橋を駆使した機能性ネットワーク構造材料の創製

大阪大学 高等共創研究院 教授 高島義徳氏

申込締切 2022年11月11日(金)

参加費 分科会個人会員・法人会員(協賛団体含む)4,000円、会員外6,000円(学生の場合1,000円)。なお、法人会員の方は3名まで会員価格で参加できます(4人目以降は個人会員でなければ会員外となります)

申込先・問合せ先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学大学院自然科学研究科応用化学専攻内

化学工学会材料・界面部会ソフトマター工学分科会事務局

TEL&FAX : 086-251-8083

E-mail : [softmatter.eng2016@gmail.com](mailto:softmatter.eng2016@gmail.com)

Web : <http://softmatter-eng.net>

## 超臨界流体部会 2022年度基礎セミナー 「超臨界CO<sub>2</sub>および亜臨界水・ 超臨界水の基礎と応用技術」

主催 化学工学会 超臨界流体部会

日時 2022年11月28日(月) 9:00～17:30, 29日(火)9:30～17:00

場所 (オンライン)東北大学東京分室※  
(東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10F)

(オンライン)ZOOM

※新型コロナウイルス感染症の状況等によってはオンラインのみで開催

大学や企業において超臨界研究の経験が浅い若手研究者や、新たに超臨界の研究を始めることを考えている技術者向けに、超臨界流体技術の基礎について分かりやすく解説するセミナーを開催する。超臨界流体の特徴や物性、代表的な応用技術、装置設計や実験法、安全などについて、各分野で活躍する専門家が解説する。

### プログラム

11月28日(月) 超臨界CO<sub>2</sub>の基礎と応用技術

9:00～9:05 開会挨拶

(化学工学会超臨界流体部会)渡邊 賢 部会長

[基調講演]

9:05～9:35 「超臨界流体技術の概論-歴史と今後の展望-」

(金沢大学)内田博久氏

[基礎講座]

9:35～10:20 「超臨界CO<sub>2</sub>系の状態・物性・相平衡」

(東北大学)猪股 宏氏

10:20～10:30 休憩

10:30～11:15 「超臨界CO<sub>2</sub>系の相平衡の測定と計算技術」

(広島大学)滝島繁樹氏・宇敷育男氏

11:15～12:00 「超臨界CO<sub>2</sub>系に関する基本操作と装置」

(東北工業大学)佐藤善之氏

12:00～13:00 昼食・休憩

[応用講座]

13:00～13:30 「超臨界CO<sub>2</sub>プロセスの工業利用」

(神鋼エアーテック(株))山形昌弘氏

13:30～14:00 「超臨界CO<sub>2</sub>を用いた天然物抽出」

(名古屋大学)後藤元信氏

14:00～14:30 「超臨界CO<sub>2</sub>利用した晶析による材料創製技術」

(金沢大学)内田博久氏

14:30～14:45 休憩

14:45～15:15 「超臨界CO<sub>2</sub>を利用した機能性材料創製」

(東京工業大学)下山裕介氏

15:15～15:45 「超臨界CO<sub>2</sub>染色」

(福井大学)廣垣和正氏

15:45～16:00 休憩

16:00～16:30 「超臨界CO<sub>2</sub>を利用した反応Ⅰ」

(産業技術総合研究所)川波 肇氏

16:30～17:00 「超臨界CO<sub>2</sub>を利用した反応Ⅱ」

(岩手大学)白井誠之氏

17:00～17:30 「超臨界CO<sub>2</sub>クロマトグラフィー」

(九州大学)馬場健史氏

11月29日(火) 亜臨界水・超臨界水の基礎と応用技術

[基礎講座]

9:30～10:15 「亜臨界水・超臨界水系の状態・

物性・相平衡」

(東北大学)渡邊 賢氏

10:15～11:00 「亜臨界水・超臨界水系の反応」

(東京大学)秋月 信氏

11:00～11:15 休憩

11:15～12:00 「亜臨界水・超臨界水系に関する基本操作と装置」

((株)東洋高圧)野口琢史氏

12:00～13:00 昼食・休憩

[応用講座]

13:00～13:30 「亜臨界水・超臨界水プロセスの工業利用」

((株)竹中工務店)川尻 聡氏

13:30～14:00 「亜臨界水・超臨界水を利用した材料創製技術」

(信州大学)長田光正氏

14:00～14:30 「亜臨界水・超臨界水を利用した機能性材料創製」

(東北大学)宮居高明氏

14:30～14:45 休憩

14:45～15:15 「超臨界水・超臨界水中でのバイオマス変換」

(熊本大学)佐々木満氏

15:15～15:45 「亜臨界水・超臨界水を用いた抽出」

(宇都宮大学)佐藤剛史氏

15:45～15:55 休憩

15:55～16:25 「亜臨界水・超臨界水を利用したエネルギー変換」

(広島大学)松村幸彦氏

16:25～16:55 「水熱技術による食品素材の変換」

(東北大学)藤井智幸氏

16:55～17:00 閉会挨拶

化学工学会超臨界流体部会

申込締切 2022年11月15日(火)

参加費

(2日間とも出席)部会員 25,000円、非部会員(一般) 55,000円

部会学生会員 3,000円、部会未加入学生 6,000円

(いずれか1日のみ)部会員 15,000円、非部会員(一般) 30,000円

部会学生会員 2,000円、部会未加入学生 4,000円

今回の基礎セミナーでは、懇親会は開催いたしません。

支払方法 郵便振込(申込みいただいた後、担当者より口座情報をお知らせいたします)

申込方法 下記の必要事項をご記入のうえ、申込先までお申し込み下さい。

1) 御氏名、2) 御所属・部署名・役職、3) 連絡先(E-mail, TEL, FAX)、4) 連絡先ご住所、5) 会員資格(部会員、非部会員、部学生会員、部会未加入学生)、6) 参加方法(オンライン、オンライン)、7) 出席予定日(11月28日、11月29日、11月28・29日両方出席)

申込先 超臨界流体部会 事務局

E-mail : [toshiyuki.nonaka.e8@tohoku.ac.jp](mailto:toshiyuki.nonaka.e8@tohoku.ac.jp)

ZOOM接続方法 別途、担当者より案内いたします。

問合せ先 超臨界流体部会 事務局

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-11-406

東北大学大学院工学研究科附属超臨界溶媒工学研究センター 野中利之

E-mail : [toshiyuki.nonaka.e8@tohoku.ac.jp](mailto:toshiyuki.nonaka.e8@tohoku.ac.jp)

## シンポジウム モビリティの 電動化を牽引するエレクトロニクス ～電池・モータ・半導体と 環境対応～

主催 化学工学会エレクトロニクス部会  
協賛(予定) 電子SI連絡協議会(ESIC), 表面技術協会, エレクトロニクス実装学会(JIEP), 日本電子回路工業会(JPCA), スマートプロセス学会(MSTE), C-NET, よこはま高度実装技術コンソーシアム, 他

日時 2022年12月16日(金) 13:00～17:45(予定。前後する場合あり)

会場 東工大 蔵前会館(東京都目黒区)及びオンライン(ZOOM)のハイブリッド開催。状況によりオンラインのみの場合あり。

プログラム(タイトル・講演順は変更となる場合があります)

1. 基調講演 モビリティ電動化の将来展望  
(横浜国大)赤津教授
2. EVに使用される電池の高効率化  
(東大)一杉教授
3. EV用DC充電の規格と展望  
(CHAdEMO協議会)丸田氏
4. モータの消費電力削減に貢献する磁性材料の技術開発  
(産総研)尾崎氏
5. 自動車用パワーデバイスの現状と課題  
※講師選定中
6. 自動車素材のリサイクル  
(JARC)阿部氏

定員 会場100名, オンライン300名。申込み順で, 定員になり次第締め切ります。なお事前に会場での参加登録がされていない場合, 当日の会場での聴講をお断りする場合があります。

参加費  
部会個人会員・法人会員 3,000円  
その他化学工学会会員及び協賛団体各会員 6,000円

大学教員・研究員 2,000円(学生及び大学関係の部会員は無料)  
一般参加者 10,000円(同時に部会入会する場合は7,000円)

オンライン参加の場合は, 事前に銀行振り込みをお願いします(カード払いはできません)。領収書・請求書はPDFにてご案内いたします。会場参加の場合は, 当日現金でのお支払いとなります(領収書を用意します)。

詳細 <http://www2.scej.org/elebukai/contents/04.html>

申込方法 メールまたは上記URLから, 以下の内容を明記の上送信ください。メール記載内容: ①氏名, ②勤務先住所(所属部署まで), ③メールアドレス, ④聴講方式(会場参加, またはオンライン参加), ⑤電話番号, ⑥会員資格(上記参加費欄の区分を記載)

申込締切 12月9日(金)

申込・問合せ先  
エレクトロニクス部会  
E-mail: [div\\_electro@scej.org](mailto:div_electro@scej.org)

## 第17回国際伝熱会議(IHTC-17) のご案内 アブストラクト受付(10/15まで)

「The 17th International Heat Transfer Conference (IHTC-17)」が南アフリカ・ケープタウンで開催されます。現在アブストラクトの投稿を受け付けており, 申し込み期限が10月15日となっておりますので, お知らせいたします。奮ってアブストラクトの投稿をお願い申し上げます。

この会議は, 4年ごとに開催される当該分野の最も権威ある国際会議であり, 2014年は京都, 2018年に北京で開催されました。新型コロナウイルス感染症のため, 2022年の予定が1年延びておりましたが, 先日のアセンブリ会議(AIHTC)で2023年8月の開催が決定しました。今回はpeer reviewを経て発表された論文がBegell House社のIHTC Digital Library (IDL)に収録されることとなっております。皆様のご参加をお待ちしております。

会議名 The 17th International Heat Transfer Conference (IHTC-17)

会期 2023年8月14日(月)～18日(金)

開催地 南アフリカ・ケープタウン Cape Town International Convention Centre

開催形式 (現時点では)完全対面

講演申込期限 2022年10月15日

Website: <http://ihtc17.org/>

問合せ先 東京工業大学科学技術創成研究院ゼロカーボンエネルギー研究所 加藤之貴

E-mail: [kato.y.ae@m.titech.ac.jp](mailto:kato.y.ae@m.titech.ac.jp)

## 地域 C T



### 東北支部

#### 第32回化学工学一関セミナー —サステナブル社会の実現に向けた 材料開発研究の最前線—

今回のセミナーでは, 「サステナブル社会の実現に向けた材料開発研究の最前線」というテーマを設定しました。豊かで持続可能な社会の実現に向けて, 材料開発においては機能のみならず環境や使用後のリサイクルも考慮することが求められます。

本テーマに関して, 次世代の高機能材料として期待されているカーボンナノチューブと幅広い産業で重要な役割を果たすカルシウム系材料に着目し, それぞれの研究分野において第一線で活躍されている2名の先生にご講演いただきます。ぜひ, 多くの皆様方に参加くださいますよう, ご案内申し上げます。

主催 岩手化学工学懇話会, 一関工業高等専門学校

共催 化学工学会東北支部, 粉体工学会東北談話会, 一関高専教育研究振興会

後援 公益財団法人岩手県南技術研究センター

日時 2022年11月18日(金) 15:10～17:00

会場 一関工業高等専門学校 第一講義室(一関市萩荘字高梨)

(一ノ関駅よりタクシー約10分)

※新型コロナウイルスの影響により変更

が生じる可能性があります。

プログラム

開会挨拶 (15:10～15:15)

講演① (15:15～16:00)

「セレンディビティ(思わぬ偶然)から産業へ: カーボンナノチューブ合成開発における私の仕事」

(国立研究開発法人産業技術総合研究所

ナノカーボンデバイス研究センター

先端素材研究チーム長)

Don N. Futaba 氏

休憩・換気 (16:00～16:05)

講演② (16:05～16:50)

「環境保全にかかわるカルシウム化合物の開発」

(日本大学 理工学部物質応用化学科教授)

小嶋芳行 氏

参加費 無料

申込み先 下記までお申し込み下さい(締切り11月11日(金), 当日受付も可)。

〒021-8511 一関市萩荘字高梨

一関高専総務課総務係

TEL: 0191-24-4704 FAX: 0191-24-2146

E-mail: [s-somu@ichinoseki.ac.jp](mailto:s-somu@ichinoseki.ac.jp)



### 関東支部

#### 第64回関東技術サロン講演会 “人の心を動かすモノづくり” 「弱いロボット」

主催 (公社)化学工学会関東支部

ロボットと聞くと工場の自動化として作業している産業ロボットや, 近年ではAI技術を取り入れた高性能ロボットをイメージするだろう。今回は, 逆にひとりでは何もできないロボット「弱いロボット」が持つ可能性について, 以前から研究を積み重ね, 開発してきた豊橋技術科学大学 岡田美智男 氏からロボットと人のコミュニケーションについてご講演いただきます。「弱さ」を力にしてしまうロボットたち。ひとりでは何もできないが, 周りを巻き込み, 人との協働により「何か」ができてしまうロボット。人と人のコミュニケーションの仕組みを探る目的で数々のロボットを世に送り出してきた岡田氏から「弱いロボット」が教えてくれる人の心を動かすモノづくりについてご講演いただきます。

今回はオンライン講演となりますので, 講演会後半の意見交換においてはマイクを通した直接の質疑応答以外に, チャットからの質問についても講師 岡田美智男 氏からご返答・ご意見をいただく予定です。多くの方のご参加お待ちしております。

日時 2022年11月18日(金) 16:30～18:00(講演・

ディスカッション)

場所 オンライン講演(Zoom)

プログラム

16:30～16:35 関東支部第3企画委員長開会挨拶

16:35～17:35 講演「人の心を動かすモノづくり」[弱いロボット]

17:35～18:00 ディスカッション

講師 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 岡田美智男 氏

申込方法 下記の化学工学会関東支部HP又はFAX送信でお申込みください。

関東支部HPから申込み場合、<http://www.scej-kt.org/>の次回行事開催一覧の「関東技術サロン」をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

オンライン参加Zoom URLについては、お申込みいただいた方に個別にご連絡します。

参加請求書をご希望の方には請求書も併せてお送りします。

同意事項 今回、オンライン開催のため、申込みにあたり、以下のことに予めご同意ください。

・録画録音等は一切禁止します。

・オンライン会議システムの環境構築はご自身で行っていただきますようお願いいたします。

・Web申込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>) の次回行事開催一覧の「第29回イブニングセミナー」をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛、「第29回イブニングセミナー」と明記し、会社・学校名、参加者指名、所属部署、郵便番号、住所、電話、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上、お送りください。

・録画録音等は一切禁止します。

・オンライン会議システムの環境構築はご自身で行っていただきますようお願いいたします。

・Web申込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>) の次回行事開催一覧の「第29回イブニングセミナー」をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛、「第29回イブニングセミナー」と明記し、会社・学校名、参加者指名、所属部署、郵便番号、住所、電話、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上、お送りください。

・録画録音等は一切禁止します。

・オンライン会議システムの環境構築はご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 第29回 イブニングセミナー ー化学工業分野への データサイエンスの活用事例と 今後の展開ー

主催 (公社)化学工学会関東支部

協賛 (公社)化学工学会システム・情報・コミュニケーション(SIS)部会、開発型企業の会、日本ディープラーニング協会、人工知能学会

化学工学会関東支部では、新聞、雑誌、ニュース等で話題になっているホットな技術を取り上げ、その分野に詳しい技術者あるいは先生に平易に解説していただき、理解を深めるセミナーを開催しています。今回は、プロセスの革新のためのデータサイエンスの活用事例について直接事業に関わっている技術者から講演していただくセミナーを企画しました。日本の基幹産業である製造業の中でも化学製品を取り扱う事業において、プロセスを革新するためにはモデル化が重要ですが、近年ではビックデータのように大量の情報を取り込むため、機械学習やAI、DXなどが着目されており、これらを組み合わせたデータサイエンスが重要となっています。本セミナーでは、三井化学の八坂様から化学産業でのデータサイエンスの活用事例や人材育成について、ダイセルの三好様から生産現場で収集したデータをAIや機械学習を用いることで進化させた「ダイセル式生産革新手法」についてご講演をいただきます。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 2022年11月30日(水)16:00～18:05

会場 オンライン

プログラム

1. 開会の挨拶(16:00～16:05)

2. 「化学工場におけるデータサイエンスの活用と人材育成」(16:05～16:50)

(三井化学(株))八坂直登 氏

3. 「ダイセル式生産革新手法がAIで進化～自律型生産システムによる自ら考える現場～」(16:50～17:35)

((株)ダイセル)三好史浩 氏

4. 講演者との交流会・総合討論(17:40～18:00)

5. 閉会の挨拶(18:00～18:05)

募集人員 50名 申し込み先着順で定員になり次第締め切ります。

参加費 正会員2,000円、法人会員(協賛団体含む)2,000円、学生会員1,000円、SCE・Net会員1,000円、サロンメンバー1,000円、会員外5,000円

尚、それぞれの参加費にはテキスト代と消費税が含まれています。

支払方法 受付後、お送りする振替用紙にて事前にお振り込みください。当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。

申込方法 Web、メールまたはFAXにてお申し込みください。

・Web申込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>) の次回行事開催一覧の「第29回イブニングセミナー」をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛、「第29回イブニングセミナー」と明記し、会社・学校名、参加者指名、所属部署、郵便番号、住所、電話、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上、お送りください。

申し込み先 公益社団法人 化学工学会関東支部事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内

TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

E-mail : [info@scej-kt.org](mailto:info@scej-kt.org)

## 東海支部

### 「第33回中高教諭と ケミカルエンジニア交流のための 見学講演会」 および「化学工学会東海支部 第107回講演見学会」合同見学会

主催 化学工学会 人材育成センター未来人材育成委員会、化学工学会 東海支部

協賛 (予定) 日本化学会東海支部、次世代化学教育研究会、化学教育支援システム事務局、東海化学工業会、日本機械学会東海支部、高分子学会東海支部、化学工学会グローバルテクノロジー委員会、静岡化学工学懇話会、炭素繊維協会、複合材料学会、繊維学会

本企画は中高校生の教育に当たっておられる中学・高校の先生に企業のモノづくりについて理解いただき、製品化された現物を実際にご覧いただくと共に、会員の知識向上および見聞を広げることを目的に実施しています。今回は、東レ(株)名古屋事業場にて環境モビリティ開発センターのショールーム見学と化学工学や理科教育に関連する講演を聴講いただきたいと考えております。中学・高校の先生には、ショールーム見学や講演、大学の先生や産業界のエンジニアとの意見交換を通して、化学工学とは何かを知っていただき、日頃の教育の糧としてお役立ていただけます。奮ってご参加ください。

日時 2022年12月26日(月)13:00～16:45

場所 東レ(株)名古屋事業場(第1工場)(名古屋市港区大江町9番地の1)

TEL : 052-613-5111

([https://cs2.toray.co.jp/company\\_information/toray/compinfo01.nsf/release/loc\\_005?opendocument](https://cs2.toray.co.jp/company_information/toray/compinfo01.nsf/release/loc_005?opendocument))

集合場所 12:45までに東レ(株)名古屋事業場(第1工場)環境モビリティセンターに直接お越しください(建屋の場所は守衛にお尋ねください)。

スケジュール

13:00～13:10 支部長挨拶と事務連絡

13:10～14:00 講演「東レグループ会社概要と理科教育支援活動」

東レ(株)技術センター 竹田多完 氏

14:00～14:50 講演「活性炭素繊維(ACF)を用いた大気浄化技術の開発と応用」

京都大学 産官学連携本部 特定教授 吉川正晃 先生

14:50～15:05 休憩

15:05～16:30 東レ(株)環境モビリティ開発センター ショールーム見学

16:30～16:45 質疑応答。その後、現地解散

募集定員 16名(定員になり次第締切。なお、最新の情報は化学工学会東海支部ホームページをご参照ください。)

参加費(税込) 中学・高校教諭 無料、化学工学会および協賛団体会員1,000円、会員外2,000円

申込締切 2022年11月25日(金)

・見学を予定しておりますので、同業者様の見学をお断りする場合があります。

・参加者には参加証(メール)と集合場所の地図(案内)をお送りします。当日印刷してご持参ください。

・政府から緊急事態宣言等が発令された場合、学会の規則に従いオンライン開催への切り替えや中止とさせていただきます。

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」からお申込みください。

<https://scej-tokai.org/>

送金方法 銀行振込

みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521

「公益社団法人化学工学会東海支部」

ゆうちょ銀行 名古屋 00880-7-5640 「公益社団法人化学工学会東海支部」

問合せ先 化学工学会東海支部

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内

<http://scej-tokai.org/>

TEL : 080-4525-3070

## 関西支部

### 第39回プラントオペレーション に関する現場監督者セミナー

主催 化学工学会関西支部、化学工学会SIS部会プラントオペレーション分科会

日時 2022年12月16日(金)9:00～

17日(土)16:00

開催形式 Zoomによるオンライン開催

スケジュール

第1日 : 12月16日(金)9:00～

1. 開会あいさつ、オリエンテーション
2. 講演「デジタル化が加速するこれからの時代の化学プラント」(東農工大)山下善之氏
3. グループ討議 テーマ「これからの時代に即した監督者のあり方」
  - ①現場力の維持向上、②現場の安全確保、③技術伝承/若年者教育の進め方、④未来工場でのオペレーション、⑤その他(参加者希望テーマから)のサブテーマを設定し、参加者希望のグループに分かれて討議します。

第2日：12月17日(土)9:00～16:00

4. グループ討議の続きとまとめ
  5. グループ討議結果の発表と質疑、講評
- アドバイザー(予定)  
山下善之氏(東農工大)、野田賢氏(福岡大)、武田和宏氏(静岡大)、黒岡武俊氏(富山大)、濱口孝司氏(名古屋工大)、金尚弘氏(東農工大)、伊藤利昭氏(元名古屋工大)

**参加費** 化学工学会会員 41,000円、会員外 51,000円(何れもタブレットレンタル費用・夕食(デリバリー)費用、消費税含む)

**申込締切日** 10月21日(金) ただし、定員(50名予定)になり次第締切(先着順)

**申込方法** 下記URLの参加申し込みフォームよりお申込みください。

<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=16894>

参加費は、銀行振込 [りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.0405228 公益社団法人化学工学会 関西支部]名義でご送金ください。

**注意事項/連絡事項**

- ・参加者には、11月上旬頃、詳細スケジュール等の案内、テーマ内容に関する資料を送付します。
- ・開催2週間前以降のキャンセルは50%、同3日前以降は100%のキャンセル料を申し受けます。
- ・タブレット端末を12月14日(水)に指定先に配達致します。受講終了後、速やかに返却ください。(12月20日(火)までに返却されない場合、延滞料金が発生します。)
- ・夕食には塚田農場デリバリーを利用します。  
<https://www.ienomibin.com/html/page12.html>
- ・インターネット回線は各自でご準備し、タブレット端末のWi-Fi接続も各自で設定願います。
- ・主催者の許可の無い限り、受信資料の保存(録音・録画)、再配布は固く禁止します。

**申込・問合せ先** 公益社団法人化学工学会関西支部

〒550-0004 大阪市西区朝本町1-8-4 大阪科学技術センター6階  
TEL：06-6441-5531 FAX：06-6443-6685  
E-mail：apply@kansai-scej.org

## 中国四国支部

### 岡山地区化学工学会懇話会 化学工学基礎講習会(基礎編)

主催 岡山地区化学工学会懇話会  
協賛 化学工学会 中国四国支部

2022年度化学工学基礎講習会(基礎編)を下記のとおり開催いたします。皆様奮ってご参加ください。

**日時** 2022年11月4日(金)13:30～16:30  
**場所** 三菱ケミカル(株)岡山事業所(〒712-8054 岡山県倉敷市潮通3-10)

**講演** 「蒸留の原理と設計計算の基礎」

岡山大学 学術研究院自然科学学域 教授  
今村維克氏

蒸留操作は揮発性の異なる混合液を分離する際に汎用されています。蒸留操作の基本となる気液平衡関係の表し方から、単蒸留、フラッシュ蒸留、精留の原理と設計計算について講述します。演習問題を解きながら、一連の基礎式の有効性と意義を体感してもらえたらと考えています。

**参加費**

岡山地区化学工学会懇話会会員 5,000円  
化学工学会会員 8,000円  
非会員 10,000円

**申込締切** 2022年10月21日(金)

**申込方法**

- 1)E-mailにて申込みの場合  
「11/4(金)の基礎講習会に参加します。○○△△(○は企業名 △は氏名)を記載し、事務局宛てに返信。複数でご参加の場合、参加者全員の氏名を記載。
- 2)FAXにて申込みの場合  
参加申込書(HPの開催案内2ページ目)をFAXにて事務局宛てに送付。

**問合せ先**

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1  
岡山大学大学院自然科学研究科応用化学専攻内  
岡山地区化学工学会懇話会事務局 後藤・大谷  
TEL&FAX：086-251-8083  
E-mail：konwakai@optic.or.jp  
Web：https://www.optic.or.jp/kakou-konwakai/

## 中国地区化学工学会 2022年度 セミナー 「プラスチックの資源循環 ～マテリアルからエネルギー～」

主催 中国地区化学工学会懇話会  
共催 広島大学フィニックス協力会

瀬戸内海沿岸には多くの化学産業があり、プラスチックやゴムなどの原材料や製品を数多く生産しています。循環型社会が指向されるこの時代において、これら製品の生産・利用・処理までをスムーズに繋げ、資源循環させることが求められています。一方で、令和4年4月から施行された、プラスチックに係る資源循環促進等に関する法律(プラ新法)が執行され、「プラスチックは選んで、減らして、リサイクル」のかけ声の下、プラスチック製品の調達、生産、設計、販売、消費への個人、企業、自治体の関わりが求められるようになり、化学産業全体が果たす役割が問われています。そこで、本年度のセミナーでは、プラスチックの資源循環の取り組みの最新情報やその将来展望について紹介し、瀬戸内海の化学産業の活性化に繋がる取り組みについて考え、議論する機会といたく企画しました。多くの方のご参加を期待しております。

**日時** 2022年11月11日(金)

講演会 10:00～17:10  
交流会 17:30～19:30

**場所** TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前3A(講演会3F)、4A(交流会4F)  
(〒732-0821 広島県広島市南区大須賀町13-9)

**アクセス** 広島駅(南口・在来線口)から徒歩2分

**プログラム**

主催者挨拶(10:00～10:05)  
広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授  
都留稔了氏

**講演**

1) (10:05～11:00) EUにおけるプラスチック循環の動向と日本の課題

公益財団法人日本生産性本部  
コンサルティング部  
エコ・マネジメント・センター長  
上智大学大学院 地球環境学研究所  
非常勤講師 喜多川和典氏

2) (11:00～11:30) メタクリル酸メチルポリマーのリサイクル技術の開発

三菱ケミカル(株)生産技術部  
広島生産技術開発室  
ポリマープロセス開発セクションリーダー  
永瀨慶秀氏

3) (11:30～12:00) プラスチック資源循環デジタルプラットフォーム開発プロジェクト：BLUE Plastics

旭化成(株)デジタル共創本部  
インフォマティクス推進センター  
資源循環プロジェクト長 井出陽一郎氏  
<12:00～13:00 昼食>

4) (13:00～13:55) 日本におけるプラスチック資源循環の方向性

早稲田大学先進理工学研究所応用化学専攻  
教授 松方正彦氏

5) (13:55～14:40) 企業アライアンスによるプラスチック資源循環への対応

クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス事務局  
技術統括 柳田康一氏

<14:40～15:00 休憩>

6) (15:00～15:30) 軟包装の環境対応とマテリアルリサイクル

三井化学(株)ICTソリューション事業本部  
企画管理部 益坂公治氏

7) (15:30～16:15) マテリアルリサイクルの温故知新-PE/PPブレンド技術から+1(プラスワン)機能へ-

滋賀県立大学 工学部 教授 徳満勝久氏

8) (16:15～17:05) 自動車リサイクルの現状とプラスチックリサイクルへの期待

公益財団法人自動車リサイクル促進センター  
専務理事 阿部知和氏

セミナー閉会挨拶(17:05～17:10)  
**交流会** 17:30～19:30 (TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前 4A(4F))

**定員** 120名

**参加費**(消費税込み)

講演会：中国地区化学工学会懇話会会員/化学工学会会員/広島大学フィニックス協力会会員 5,000円、非会員 8,000円

交流会：3,000円

**申込方法** 申込先フォームサイト(利用できない場合は電子メール)でお申込み下さい。参加者氏名、会員・非会員の区別、勤務先、所属、連絡先(住所、電話、E-mail)、送金予定日、交流会参加/不参加を明記し、参加費のお支払いは、銀行振込(もみじ銀行 西条支店 普通預金1058275 中国地区化学工学会懇話会)をご利用下さい。

**申込締切** 2022年10月21日(金)

**申込先フォームサイト**：<https://forms.office.com/r/Tw83hpRZEL>

**問合せ先**

〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部化学工学講座内  
中国地区化学工学会懇話会事務局  
TEL：082-424-7718 FAX：082-424-5494  
E-mail：ysasa@hiroshima-u.ac.jp

中国地区化学工学懇話会ホームページ：  
<https://konwakai.hiroshima-u.ac.jp>

中国四国支部・  
関西支部合同支部大会  
岡山大会2022 開催案内

日時 2022年12月19日(月)  
会場 岡山コンベンションセンター  
(〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14  
番1号)

大会Webサイト：<http://www3.scej.org/meeting/cs2022/>  
講演申込期間：2022年10月1日(土)～10月31日  
(月)  
要旨原稿提出：2022年10月1日(土)～11月18日  
(金)  
事前参加登録：2022年11月1日(火)～11月30日  
(水)

化学工学会中国四国支部では、本年12月19日  
(月)に岡山コンベンションセンター(通称：ママ  
カリフォーラム)にて、関西支部と合同で支部大  
会「岡山大会2022」を開催いたします。  
「岡山大会2022」は、移動距離が少ない地方大

会の特徴を活かすため、感染防止対策をした上  
で、オンサイト(対面)のみでの開催を予定して  
います。

また、当大会への学生および会員の参加を促  
すため、学生の参加費は会員・非会員問わず無  
料、会員の皆様は事前参加登録をいただければ  
無料といたしました。

多数のご講演、ご参加をお願いいたします。

問合せ連絡先：化学工学会 中国四国支部 岡山大  
会2022 問い合わせ係

E-mail：[inquiry-cs2022@www3.scej.org](mailto:inquiry-cs2022@www3.scej.org)